

## 令和2年度第1回太宰府市立図書館協議会 会議録

日時 令和2年11月25日（水）18時00分～19時45分

場所 プラム・カルコア太宰府 研修室1

出席者 【委員】 時里会長、穂坂副会長、藤野委員、八尋委員、野田委員、  
前田委員、黒田委員

【事務局】 文化学習課：花田課長、松尾係長、齊藤  
市民図書館：今村館長、中山司書

傍聴人 なし

- 1 委嘱状交付
- 2 教育長あいさつ（菊武教育部長代読）
- 3 委員、事務局紹介
- 4 会長、副会長互選

（協議会開会）

○事務局

本日の図書館協議会につきましては、委員の過半数にご出席いただいておりますので、太宰府市立図書館協議会規則第5条第2項の規定により、協議会は成立しております。

なお、黒田委員は後ほど遅れて出席される旨の連絡をいただいております。

5 会長挨拶

6 協議事項

(1) 令和元年度の報告（館報）について

○事務局

館報「だざいふのとしょかん」をご覧ください。

月別の貸出しについて、グラフで3月が大きく下がっているのは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館本館が3月2日から3月25日まで臨時休館したことが理由です。6日間の開館日に、通常のひと月分の3分の1程の貸出しがありました。移動図書館すくすく号については利用が屋外で安全と考えられたため、通常通り運行しました。本館の利用者も移動図書館を利用したことにより、通常ではひと月約5,000冊の貸出しが、約8,000冊となりました。この期間は全体の貸出しは減少しましたが、利用状況を見ると、本を読みたい人が多かった、ニーズがあったと言えると思います。

資料別の貸出し数を見ますと、人口的には一般書を借りる世代が多いのですが、児童書が一般書の半分ほどの貸出しとなっています。児童書がいかに多く読まれているかがわかります。

過去5年の移り変わりを見ると、蔵書数は収蔵冊数の関係でほぼ変わりませんが、貸出し数と利用人数は減少してきています。

移動図書館すくすく号の利用について、個人貸出しのうち12歳以下の子ども本人が借りた割合が、本館10.8%に対して移動図書館では35.7%と高い割合になっています。身近に本を借りる場があれば、子どもに利用されるということを実に表しています。

団体貸出しのうち、幼稚園と小学校の学級文庫には図書館で選んだ本を配本しています。学級文庫はクラスごとの登録で、年3回配本しました。市立小学校のほとんどのクラスから希望があり登録されています。

ブックスタートとすくすくえほんファーストブック事業は、市保健センターと子育て支援センターとの連携で実施しています。それぞれ4か月児健診、1歳6か月児健診時に読み聞かせと事業説明を行い、ブックスタートでは絵本をプレゼントしています。

おはなし会は、図書館開催の年齢別の2つのおはなし会「ひよこのおはなし会」「赤ちゃんゆびのおはなし会」、学童保育所や特別支援学校などの要望を受けて出向いて行う「出張おはなし会」、読書ボランティア団体主体の「いないいないばあのおはなし会」「えほんとわらべうた『プチ・ぶちぶち』のおはなし会」を行っています。

見学・体験学習では、見学が小学校・大学などのべ7校、体験学習は中学校3校を受け入れました。学校同士の日程が重なって受け入れができないこともあります。図書館としてはご要望があればなるべく応えたいと考えています。

図書館ボランティアは個人での活動と団体活動があります。団体の「布の絵本の会」では、障がい者も健常児も一緒に楽しめる作品を作っています。

「としょかんだより」のほか、本の紹介する情報紙を対象世代や内容別に各種発行し、読書の支援を行っています。

学校支援事業については、小学校は各校への巡回と読書リーダー養成講座、中学校は業務支援と中学生POP講座を実施しました。

予算は、令和2年度はここにあげている資料費に加え、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を受けた市の新型コロナ感染対策事業の一環で、「図書館パワーアップ事業」として100万円が補正予算として付きました。

行事は例年通りの内容で計画していましたが、7月の大雨と2月後半から新型コロナウイルス感染拡大による中止がありました。図書館主催のもののほか、読書ボランティア団体主催事業の後援・協力を行っています。

○八尋委員

コロナ対策で付いた予算は全部資料費ですか。消毒液などを購入することにも使われるのでしょうか。

○事務局

全て資料を購入するための予算です。

○時里会長

コロナにより事業を中止せざるを得なくなったという状況は2月下旬からということですか。

○事務局

学校への臨時休校要請が出された2月最終週から直接的な影響を受けました。

○時里会長

3月は全て休んだということではなかったのですか。

○事務局

3月2日から3月25日までが休館でしたので、3月1日と3月26日から31日までの6日間は開館し、その後4月からまた休館しました。3月の休館については、本館は出入り口

で予約資料の貸出しを続けていましたが、4月からは完全休館となりました。3月は6日間の開館で約13,000冊の貸出しがあったという形になります。

## (2) 第2次太宰府市子ども読書活動推進計画進捗状況について

### ○事務局

計画の領域ごとに取り組む状況をご説明します。

まず、乳幼児期ですが、乳幼児期を対象とした事業につきましては、安定して良好な取り組みが継続できております。前年と比較したところでは、五条保育所での取り組みがより積極的に推進されており、取り組み4番「たより発行等による保護者への情報提供」、取り組み5番「読み聞かせ・おはなし会の実施」、取り組み7番「絵本コーナーなど絵本と親しむスペースの整備と資料の充実」につきまして、それぞれ達成度がBからAに上がっております。

次に、学齢期について、達成度は前年と変わりありません。取り組み23番「移動図書館の学校乗り入れと身近な場所の巡回」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校や本館休館となった期間でしたが、この期間も安全に配慮しながら移動図書館の運行を続けたことで、先ほどの図書館の報告の方でもご説明しましたとおり、通常より多くの貸出しがありました。休校中の子どもたちの読書の一助になれたのではないかと考えております。

青年期については、第1次計画で取り組みが不足しており、第2次計画で新たに加えた項目になります。これからの課題ということで計画期間の当初は他の領域と比べて達成度が低くなっておりましたが、昨年度は取り組み32、33番のところで、一つ進展がありました。かねてより協議を重ねておりました福岡女子短期大学図書館との連携についてです。大学との協議を行う中で、「図書館と図書館の間」に限らず広く積極的に連携を進めて行きたいという話に発展し、「太宰府市教育委員会と大学との連携協力に関する協定」を令和2年3月2日に締結いたしました。この協定のもとに図書館につきましても、同日付けで相互貸借規約を設け、相互に蔵書の貸し借りができる環境を整えることができました。これにより達成度をCからBへ上げております。現在は新型コロナ感染拡大の影響によりまして積極的な連携事業の実現には至っていない状況ですが、これを契機に他の大学図書館とも交流や連携を進めていきたいと考えております。

協働については、達成度の評価は変わっておりません。新型コロナ感染拡大の影響により年度末に一部事業の中止がありましたが、年間としては順調に事業を進めることができました。市民の皆さまとの協働ということで、人と人をつなぐことが活動の主体となりますので、令和2年度につきましては、達成度で新型コロナの影響が大きく出てくるものと懸念しております。

### ○八尋委員

取り組み25「学校支援事業」について、元年度は市民図書館から学校図書館への巡回があり、相談などもできてよかったと学校司書から話を聞いていますが、これは令和2年度はなくなるのですか。

### ○事務局

令和2年度からの体制の変更により、現在は、学校司書の研修や相談は学校教育課、学校への資料の貸出しは図書館で担当しております。専任で学校図書館支援に携わ

る人員の配置がないため、今までどおりの手厚い支援ができない状況となっています。

○八尋委員

昨年度のように週1回の巡回などで支援していただけると助かるという話を聞きました。

○事務局

市民図書館として可能な限りの支援を行っていますが、現在の人員では学校への配本もできない状況です。学校への配本を含めて学校教育課と話をさせていただいているところです。

○穂坂委員

取組み32の「相互貸借などの協力体制の整備」について、具体的にどういうことか教えてください。例えば私の読みたい本が太宰府市民図書館になかった場合、市民図書館から福岡女子短期大学の図書館に所蔵の問い合わせをしたり、貸出しをしていただいたりできるということですか。

○事務局

そうです。相互貸借もできますし、市民の方が実際大学図書館に行って借りることもできる協力内容となっています。ただし現在は新型コロナの影響で、市民の大学図書館利用はできない状況となっています。

○穂坂委員

大学図書館の本を市民図書館に借りてもらえるのではなくて、大学図書館にあるのでそちらに自分で借りに行ってくださいというアドバイスがあるということですか。

○事務局

相互貸借は、市民図書館に申込みをしていただいたら、市民図書館が大学図書館から本を借り受けて利用者にお貸しするものです。この相互貸借とは別に、大学図書館を市民が直接利用することもできるということです。

○穂坂委員

そういうことができるということの広報はどのようにしていますか。

○事務局

協定締結が3月2日でしたので直後から新型コロナの影響を受け、休館や学内への立ち入り制限ということもありまして、市・大学ともに広報ができない状況が続いているところです。

○穂坂副会長

新型コロナの状況が落ち着いて条件が整ってから広報していこうということですね。

○事務局

はい。先方ともそう話をしています。

○時里会長

これは画期的な試みではないですか。相互貸借は、公共図書館は公共図書館と、大学図書館は大学図書館と、それぞれの館種の間で行われますが、公共図書館と大学図書館との間でいうのはあまり見たことがありません。他の図書館でこういうことをやっている例がありますか。

○事務局

県内では九州大学図書館と県立図書館の協定など、いくつかの館で例があるようですが、太宰府市のように大学の立地に恵まれている自治体は稀なので、今後ほかの大学図書館とも話を進めさせていただければありがたいと思っております。

### (3) 令和2年度事業進捗状況について

#### ○事務局

新型コロナ感染拡大防止のため、事業は10月までほとんど中止している状況です。

太宰府市子ども文庫・読書サークル連絡協議会との懇話会は、図書館との協働事業について協議をするもので、7月16日に開催しました。ハロウィンおはなし会を10月実施の方向で話をしていましたが、残念ながらこちらは中止となりました。

図書館実習受入れは、福岡女子短期大学司書養成課程の学生さん3名を10日間受け入れました。2月に市内在住の他大学の学生の受入れ予定もあります。その他の読書推進事業としては、読書会カフェを11月29日、朗読紫苑の会「冬の朗読会」を1月17日、読書推進講座を2月2日に開催予定としております。それぞれ感染対策を取ったうえで実施したいと考えていますが、状況を見ての開催判断となります。

子どもの読書活動推進事業ですが、まず年度内の乳幼児健診が集団健診から個人健診と変更になったため、4か月児健診時の「ブックスタート」については、保健センターと子育て支援センターが実施している1か月児の「こんにちは赤ちゃん訪問」時に、保健師や保育士に絵本を持って行ってもらう形になりました。この実施方法変更のために事業を受けられなかった令和元年11月生まれから令和2年3月生まれの対象者には、図書館に来て事業を受けていただくよう、健診のお知らせと一緒にチラシを入れて対応しています。1歳6か月児健診時の「すくすくえほんファーストブック事業」はやむを得ず中止しています。

「赤ちゃんゆびのおはなし会」は10月から再開しました。ブックスタートに参加できなかった健診受診者の参加もあり、10月11月と大変盛況でした。「ひよこのおはなし会」は10月は3回、11月からは毎週開催しています。各おはなし会開催にあたっては、定員の制限、時間の短縮、参加者同士やスタッフとの間に十分な距離を置くこと等の対策を取っています。ボランティア団体主体のおはなし会は各団体の判断により今のところは休止しています。

その他10月までの行事は大きなものも含めて全て中止となりました。12月19日開催予定の「おはなし会のクリスマス」は通常は読書ボランティア団体と協働で開催していますが、急な変更に対応できるよう、今年は職員のみで開催することにしました。こちらも定員制限と時間短縮をかけています。文庫育成講座は1月2月開催の予定で準備をしております。

学校支援事業としては、「学級文庫貸出し」は通常年3回実施していますが、今年度は休校や夏休み短縮のため、年2回となりました。「授業支援貸出し」は、物流の支援はできておりませんが、10月末時点で28件529冊を貸し出しております。「小中学校図書館見学・職場体験学習受入」は11月17日に太宰府小学校、11月20日に太宰府東小学校が見学に来られました。太宰府西小学校では、図書館で撮影した写真と、いただいた質問に図書館から回答したものを使って、学校で見学されたと聞いております。オンラインではありませんが、来館をしない形での見学をしていただいたということです。「移動図書館車の小学校巡回」は5月末から始めています。各校の受入れ判断に応じての巡回でしたので、一校のみ長く入ることができませんでした。

10月末現在の貸出しなどの利用状況については、本館は1か月半ほどの休館のため累計で昨年度より低くなっていますが、屋外が安全という意識があるためか、移動図書館では利用が増えており、10月に関しては前年同月の120%の貸出し利用がありました。累計でも前年度並みとなっています。利用者数では10月は特に児童が伸びております。新規登録者数でも移動図書館では伸びています。年度当初の休館と夏休みが短かったことで、全体としてはまだ低めの利用状況ですが、現在少しずつ戻ってきているところです。

○事務局

新型コロナの影響を受けての小中学校や保育園での読み聞かせなどの状況を委員の皆さんにお聞きしたいのですが、今学校にはボランティアさんはまだ入っていないのですか。

○前田委員

入っていません。

○野田委員

まだ入ってないですね。

○藤野委員

保育所太宰府園では毎年「絵本クラブいないいないばあ」さんに入っているのですが、今のところは実施できていない状況です。ただ、本の貸出し数がすごく伸びています。月曜日と木曜日に一般の方にも貸出しをしています。1か月に大体500冊から600冊ほどの貸出しがあります。絵本は高価で1冊が1,000円を超えますので、個人で手に入れるのも難しいです。貸出しを望む方が多いということだと思います。

○事務局

そういうところは図書館でも同じで、本館の利用者数が少なかった割に児童書の貸出しが落ちなかったのは、親御さんがお子さんのための本を借りていったということだと思います。貸出し冊数の制限をしていませんので、コロナ禍でもたくさん借りて、家で読んでいただけたのではないかと思います。

○時里会長

子どもたちの利用が増えているのはよいことですね。すくすく号が大活躍ですね。

○事務局

子どもが自分で選べるというところが移動図書館のいいところです。

○時里会長

移動図書館の良い点が活かされているということですね。

○時里会長

本日の協議事項については、これで終了いたしました。

## 7 報告・その他

### (1) 図書館利用者アンケートについて

令和元年度（令和2年2月）に指定管理者が実施した図書館利用者アンケートについて報告。